第５期産業振興計画＜観光分野＞の令和８年度上半期の進捗状況

資料1

目指す姿　「極上の田舎、高知。」をコンセプトとした「どっぷり高知旅キャンペーン」を展開し、国内外の観光客に、高知ならではの魅力をじっくりと、深く、味わっていただくことで、長期滞在や高知のファンの拡大を目指すとともに、観光消費額の増につなげる。

分野を代表する目標

県外観光客人泊数	出発点(R４) 426.6万人泊	⇒	現状（R６）513.4万人泊	⇒	R８ 552.6万人泊	⇒	4年後（R９）563.9万人泊	⇒	10年後(R15) 606.8万人泊
観光総消費額	出発点(R４) 966.3億円	⇒	現状（R６）1,308億円	⇒	R８ 1,463億円	⇒	4年後（R９）1,527億円	⇒	10年後(R15) 1,810億円

【観光商品をつくる】観光資源の発掘・磨き上げ

柱１　長期滞在につながる観光地域づくりの推進

（１）「極上の田舎、高知。」をコンセプトとした観光商品づくり

①インバウンドを見据え、通訳ガイドを組み込んだ付加価値の高い観光商品の造成
②住民とのふれあい、暮らしに触れる、地元産業の活性化に資する観光商品の造成

（２）地域内での周遊・滞在の促進

①地域住民、観光事業者、市町村等の連携による周遊の仕組みづくり
②広域観光組織を中心としたデジタルデータの活用による戦略的な周遊施策等の実践

（３）長期滞在を目指した受入態勢づくり

①分散型ホテルの構築や宿泊施設を中心に長期滞在できる態勢づくりの支援
新 ②中山間地域での宿泊機能の充実・強化に向けた受入環境整備の推進

（４）地域との交流から生まれる感動など付加価値の向上

①住民とのふれあい、暮らしに触れる、地元産業の活性化に資する観光商品の造成【再掲】
②地域の理解促進につながる教育旅行の受入の拡大（歴史文化や田舎体験、教育民泊の推進）

（５）中山間地域の移動を確保するための２次交通の充実

①コミュニティバスなど既存インフラの観光への活用
②県内バス事業者との連携による旅行商品化の促進

大河ドラマを生かした観光博覧会
・拠点施設の磨き上げや消費拡大に繋がる取組の支援

磨き上げた観光資源・商品を国内外の市場へ

“おもてなし”でリピーター化
観光客の声を商品づくりに反映

【売る】PR・プロモーション

柱２　戦略的セールス＆プロモーション

（１）マスメディアを活用した情報発信

新 ①「よさこい高知文化祭2026」に連動して、地域ならではの伝統文化や歴史文化施設、高知の食文化を発信
新 ②「ドラマが生まれる場所 高知」を前面に打ち出した誘客
拡 ③どっぷり高知旅キャンペーンを通じて造成してきた観光商品の情報発信と販売力の強化

（２）旅行会社向けのセールス活動

①旅行会社向けの観光商品説明会やモニターツアーの実施
②広域観光組織と連携したセールス活動
③教育旅行誘致セールスの実施

高知県観光博覧会
どっぷり高知旅博
～ジョン万のふるさとを巡る旅～

（３）閑散期における誘客の促進

新 ①宿泊施設における冬の食キャンペーンの実施
②平日宿泊促進キャンペーンの実施
③ナイトタイムエコノミーの推進や龍馬パスポートを活用した長期滞在の促進による閑散期対策の実施

（４）スポーツを通じた誘客の促進

新 ①新県民体育館の整備を見据えた取組
拡 ②プロ・アマチュアスポーツの大会・合宿等の誘致
③地元プロスポーツチームとの誘客促進に向けた連携

大河ドラマを生かした観光博覧会
・ポスターやのぼりなどのＰＲツールの作成
・ジョン万次郎の生い立ちや功績を紹介するパンフレットの作成

「極上の田舎、高知。」をコンセプトとした「どっぷり高知旅キャンペーン」の展開

【もてなす】受け入れ・リピーターの獲得

柱３　おもてなしの推進

（１）ユニバーサルツーリズムの推進

①バリアフリー観光相談窓口の設置や特設サイトでの情報発信
②観光関連事業者の人材育成等による受入態勢の強化



戦略的セールス＆プロモーションで観光客が高知へ

（２）地域の特色を生かした受入態勢づくり

①観光ガイドの裾野拡大やスキル向上
②観光施設等でのコンシェルジュ機能の強化
③広域観光組織の体制及び機能強化

（３）観光客の満足度の向上

①おもてなしキャンペーンの展開等による県民運動の強化
②観光関連施設の「Wi-Fi、トイレ、キャッシュレス、多言語対応」の受入環境整備を推進

新 **（４）「よさこい高知文化祭2026」と連動した県内周遊の促進**

① 文化施設を組み込んだツアーの造成を促すための旅行会社向け助成制度の拡充
② 龍馬パスポートを活用した文化施設への誘客施策の実施

柱４　国際観光の推進

（１）国際航路の拡充及びインバウンド誘客の促進

拡 ① 台湾航路の定着に向けた取り組みの強化
新 ② 高知龍馬空港国際線ターミナルビルの整備を見据えた韓国航路の誘致
③ 土佐のおきゃくや四国へんろなど、高知ならではの文化資源を軸としたセールス・プロモーション

（２）観光商品の高付加価値化や滞在期間の延長

① 通訳ガイドを組み込んだ付加価値の高い観光商品の造成【再掲】
② 海外OTA等旅行会社に対するインバウンド向け観光商品のセールス・プロモーション

（３）関西圏からの誘客の促進

① 大阪観光局や関西エアポート等と連携した情報発信
② 大阪・関西万博で高い評価を得た「よさこい・街路市」など文化・食を中心としたセールス・プロモーション
新 ③ 大阪IRを見据えた大阪観光局と連携した取組の検討

（４）受入環境の整備

拡 ① 多言語・キャッシュレス化の促進による消費拡大
拡 ② 地域通訳案内士の育成や、旅行会社等とのマッチング機会の創出による高知旅行の満足度の向上

全体を下支え

柱５　観光人材の確保・担い手不足の対応

（１）宿泊施設の生産性向上につながる高付加価値化、長期滞在の推進

①分散型ホテルの構築や宿泊施設を中心に長期滞在できる態勢づくりの支援【再掲】
新 ②中山間地域での宿泊機能の充実・強化に向けた受入環境整備の推進【再掲】

（２）年間を通じた観光需要の平準化

新 ①地域ならではの食材や旬の食材の活用
②閑散期対策【再掲】

（３）積極的な人材の確保

新 ①宿泊業における人材確保対策の強化
②教育機関との連携による新たな観光人材の裾野の拡大
③外国人材の活躍推進に向けた関係機関との連携強化

令和８年度「どっぷり高知旅キャンペーン」３年目の展開

観光政策課

目　標

（１）「よさこい高知文化祭２０２６」の効果を最大限に生かした誘客、周遊促進
（２）本県ならではの「文化」を強力なコンテンツに磨き上げていくことで、どっぷり高知旅キャンペーンを加速化
（３）来ていただいた方に、本県独自の「文化」を体感いただくことで、リピーター化を促進



１.「よさこい高知文化祭２０２６」に連動した情報発信



（1） 誘客の核となるイベントの開催や、神楽や祭りなど地域ならではの伝統文化、絵金蔵や紙の博物館などの歴史文化施設、全国的に高く評価されているおきゃくや田舎寿司などの食文化を発信

① よさこい高知文化祭2026(以下、文化祭)に連動した誘客の核となるイベントの開催

文化祭期間にあわせて、よさこい鳴子踊りや神楽などの伝統芸能など高知ならではの「文化」に焦点を当てた誘客イベント「よさこい高知 宵の舞」を開催。文化祭を契機に来県した方の滞在期間延長とリピーター化を促す。

・期　間：10/24-12/6 金土日祝日・11/2　　・場　所：高知市内（ひろめ市場南スペース「よさこい広場」、大橋通商店街）

② 文化祭の盛り上がりを継続させるための本県ならではの「文化」の情報発信

文化祭終了後の反動減対策として、夜間イベントの開催による発信（R9.1/9～１/31）

・よさこい鳴子踊りの披露や観客も一緒に踊れる体験　　・おきゃく文化や田舎寿司づくりなどの食文化の体感　など

（2）文化祭をきっかけに来県される方が、旅の計画を立てられるよう、旅行の手配を行うトラベルセンター等を通じてどっぷり体験を案内

２.「ドラマが生まれる場所 高知」を前面に打ち出した誘客

（1）住民との交流や地域が大切に守ってきた自然体験など、観光資源の背景にあるドラマやストーリーを丁寧に伝えるプロモーションコンセプト「ドラマが生まれる場所 高知」を前面に打ち出した誘客

（2） 連続テレビ小説「らんまん」や「あんぱん」のゆかりの地や百貨店等との連携による高知県フェア等の開催



4/12	ハウス食品グループ ファミリーコンサートでの高知県PR(渋谷区)
4/19	ハウス食品グループ ファミリーコンサートでの高知県PR(大阪市)
5/10	ハウス食品ファミリーウォーク大阪大会での高知県PR
5/16-17	高知県フェア(新宿高島屋)にて観光情報発信
5/18-29	やなせたかしパネル展(さいたま市浦和区本庁舎)
5/20-6/24	やなせたかしパネル展(世田谷区立中央図書館)
5/23	浦和うなぎ祭り(さいたま市浦和区)にブース出展
6/6-7	世田谷区民まつりでの観光PR
6/10-24	やなせたかしパネル展(世田谷区役所)
6/15-26	やなせたかし記念館30周年パネル展(新宿区役所)
6/2-9/30	やなせたかしパネル展in新宿(新宿区役所本庁舎)
6/30-9/6	やなせたかし展「人生はよろこばせごっこ」(世田谷文学館)
8/10-14	やなせたかしパネル展(世田谷区役所)
9/1-17	蔦屋書店と連携した首都圏・関西圏等での高知県フェア
10/18	六甲高山植物園での高知県イベント(神戸市)
10/24-25	長居植物園での高知フェア(大阪市)

令和８年度「どっぷり高知旅キャンペーン」３年目の展開

観光政策課

3. 周遊促進・滞在延長・リピーター化に向けた企画

① キャンペーンサイトにおけるどっぷり体験商品の販売力強化

どっぷり体験商品の周辺にある宿泊施設やグルメ、観光施設の情報を併せて発信するとともに、インターネット上で旅行商品などを販売する事業者（OTA）と連携することにより情報収集から予約、購入まで一気通貫でできるよう、キャンペーンサイトを改修



② 高知県観光公式ファンサイト「高知の知」の運営（R8.8.3～）

登録者数：358人

リピーター化と口コミによる情報発信を強化するため、新たにコミュニティサイトを開設
オンライン（サイト内）での交流に加えて、オフライン（現地）での交流の場をつくることにより、高知ファンからの情報発信などを促し、観光誘客を強化



4. 閑散期対策・消費拡大に向けた取り組み

今後の最低賃金の上昇や、高知市内における宿泊施設の客室増などを見据えた取り組み

① 平日宿泊キャンペーン（R8.10.26～R9.3.31）

参画施設：95施設
（うち宿泊施設：71施設）

観光関連事業者と連携した、平日宿泊を促進するキャンペーン

- 宿泊事業者をはじめとする観光関連事業者と連携し、平日の宿泊や施設利用に対する特典をキャンペーン特設サイトに掲載
- オンライン旅行会社と連携した宿泊クーポンの配布
- 県内企業等を巻き込んだ平日観光の機運醸成



② 『食』を生かしたキャンペーン（R8.10.23～R9.2.18）

参画施設：28施設

宿泊施設と連携し、地域ならではの食材や、旬の食材を生かして誘客を促進

- 県旅館ホテル生活衛生同業組合と連携し、今年度のキャンペーンのテーマ食材を「高知の肉・柑橘」に決定
- 宿泊施設において、テーマ食材に沿った食事付き宿泊プランを提供するキャンペーンを実施
- 特設サイト等において高知の食の魅力を発信するとともに、宿泊クーポンの配布と県産品のプレゼント企画を実施



③ 人材確保の取り組み

- 宿泊業の繁忙期における人材の確保に向けマッチングサービスと連携し、将来の交流人口の拡大につなげる

新規登録宿泊事業者数：15施設

- 宿泊業で働く魅力を発信するために、県内宿泊事業者を取材したリーフレットと動画を製作





令和８年度 観光政策課おもてなし室の重点施策

観光政策課

Ⅰ　バリアフリー観光の推進　産振

目的　誰もが安心して高知県観光を楽しめる受入態勢を整えるとともに、更なる誘客を図る

受入態勢整備

1　バリアフリー観光相談窓口運営事業（予算額：12,173千円）

(1)バリアフリー観光相談窓口の運営
- 相談窓口の設置・運営
  高知市中心部　通年9：00～17：30（年末年始を除く）
- 宿泊事業者など観光関連事業者との相談事案の共有



(2)受入態勢の強化に向けたセミナーの開催
- 障害特性や支援方法等への理解促進セミナーの開催
  【対象者】
  拡 よさこい高知文化祭2026（全国障害者芸術･文化祭）事業の実施団体
  ○ 観光関連事業者、市町村、地域観光案内所等

(3)観光関連事業者の課題解決に向けた個別支援
- アドバイザーの派遣による課題解決に向けた個別支援

2　バリアフリー観光情報サイト運用保守等事業（予算額：2,704千円）

(1)バリアフリー観光ウェブサイトの運用保守
(2)バリアフリー観光に関する現地調査及び調査結果の情報発信

誘客促進

3　バリアフリーに配慮したパッケージツアーの試行販売

拡 **「よさこい高知文化祭2026」を契機としたパッケージツアーの試行販売**

これまでの実績（R8.9月末実績）

（１）窓口における相談受付件数

	R2（6月～）	R3	R4	R5	R6	R7	R8（～9月）
バリアフリー観光	34	64	118	139	170	185	142
車いす等貸出	9	21	38	41	50	42	15
バリアフリー観光以外	365	416	767	1,325	1,190	1,280	588

（２）観光情報サイトへの情報掲載
- 311施設（観光施設164、宿泊施設110、交通機関 37）
- おすすめコース:24件　・アクティビティ:44件

（３）バリアフリーに配慮したパッケージツアーの試行販売
- 介護タクシーによる移動支援付き高知市内観光地の周遊コース

Ⅱ　高知県観光特使制度

目的　本県に愛着を持ちゆかりのある方々に、自らの活躍の場を通じて観光情報を発信いただくことにより、本県の認知度とイメージの向上を図り、観光客の増加につなげる

1．観光特使委嘱者数（H17年度から観光特使制度開始）　R8.9月末時点

	H17	R4	R5	R6	R7	R8	累計
委嘱者数	83	11	5	19	10	4	644
解嘱者数	0	8	6	23	6	26	162
年度増減	83	3	▲1	▲4	4	▲22	482

2．観光特使の活動状況（R7特使への活動状況調査結果より抜粋）

	活動内容	選択した方の割合
日常の場面	① 観光特使としての名刺交換	95%（408組）
	② プライベート会合等でのＰＲ	74%（316組）
	③ 友人等団体での来高又は団体の送客	48%（205組）
仕事の場面	① 観光特使としての名刺交換	87%（375組）
	② 講演会、各種イベント等でのＰＲ	37%（156組）
	③ 仕事関連の団体での来高又は団体の送客	34%（144組）

（n=429組）

3．特使の名刺による誘客効果（R7年度実績）
- 名刺配布数 64,600枚
  うち誘客につながった人数は 9,024人※（14.0%）
  ※県内観光施設での利用人数

Ⅲ　おもてなし県民会議　産振

目的　観光客の皆様に、気持ちよく高知県の魅力に触れ楽しんでいただけるよう県民のおもてなし機運を醸成する

委員構成：観光業、交通・運輸、住民団体、民間企業など様々な分野の団体等25名
設置時期：平成19年度
主な取り組み



- **おもてなしキャンペーン**（期間: 9/18～12/6）
  秋のおもてなし一斉清掃（H19初回からR８で20回目※）
  ※連続参加団体及び協賛団体に対する感謝状贈呈を実施
  「よさこい高知文化祭2026」イベントでのおもてなし　など
  （参考：R7）秋のおもてなし一斉清掃（30市町村、2,604人参加）　など
- **おもてなし県民表彰**（おもてなしの取組を行う団体・個人を表彰）
  令和９年２月に表彰予定（11/10まで推薦受付中）
  （参考：R7）３組（高校生等による高知ユナイテッドSC試合会場の清掃など）
- **どっぷり高知旅おもてなし宣言とオリジナルピンバッジの配布**（R6開始）
  【宣言数】2,190名　【配付数】6,845個　（R8.9月末現在）

中山間地域での分散型ホテル構築に向けた取り組み支援

地域観光課

現状・課題

- 中山間地域での長期滞在、周遊促進には宿泊施設の充実が必要
  中山間地域の活性化に向けて基盤作りを実施（宿泊機能の強化）
- 分散型ホテルの取組に対するニーズが高まっている
  事業化ニーズを掘り起こすセミナーでは、年々参加者が増加（R5:65名 → R6:93名 → R7:108名 → R8:109名）

強化点

- 分散型ホテルの構築に向けた取組の拡大・加速化を図るため、宿泊施設を開設する事業者を後押しする新たな支援制度を創設

分散型ホテルイメージ



ソフト面　滞在型観光推進計画策定支援等委託業務

事業概要

- 中山間地域の一棟貸しの空き家等を活用した宿泊事業を検討する事業者に向けたセミナーの開催
- 事業計画づくりや宿泊施設を中心とした取組等に対する伴走支援

（1）中山間地域で長期滞在できる態勢づくり

支援内容

分散型ホテルの構築（3～5棟程度）に向けた事業計画づくりを支援し、国費等を活用した整備につなげる

支援対象

市町村、観光協会

R8年度の支援

4エリア【事業計画の策定支援】

- 香美市
- 芸西村
- いの町観光協会
- 四万十町



（2）宿泊施設を中心とした魅力向上の取組支援

支援内容

宿泊施設と観光事業者が連携した宿泊プランの造成など滞在時間延長に向けた取組に対する支援を実施

支援対象

県内の宿泊事業者
（宿泊施設を中心とした地域連携グループ）

R8年度の支援

5グループ

- 香南市
- 奈半利町（2）
- 大豊町
- 黒潮町

の各事業者グループ



※店舗併設型の宿へ改修を予定

（3）中規模の分散型ホテル構築に向けた可能性調査

支援内容

中規模の分散型ホテル（5～10棟程度）を核とした地域づくりに向けた可能性調査を実施

支援対象

市町村、観光協会

R8年度の支援

2エリア

- 四万十市
- 越知町


※昨年度の物件調査の様子

ハード面　新　中山間地域宿泊施設開設支援事業費補助金

補助目的

- 中山間地域の宿泊機能を強化し、観光客の長期滞在を図るため、宿泊施設の開設を支援する

補助概要

対象エリア：中山間地域
対象物件：空き家、空き店舗のほか、以下の物件も対象とする
・事業承継　・用途変更の物件
・新築物件（下記①のメニューに限る）
補 助 先：市町村、法人、個人事業者
対象経費：物件の改修費用、設備・備品購入費用　等
R8見込：8件（25,446千円）

新築含む複数棟の整備により中規模の分散型ホテルの構築を目指す



① 分散型ホテルを中心とした観光まちづくり推進メニュー

一定のエリア内で3棟以上の宿泊施設の運営を行い、周辺の観光関連事業者と連携した取り組みを行う者に対して、改修費等を支援

補助率：1／2以内　上限額：15,000千円

＜主な留意点＞
- 本事業を通して事業者（または地域連携グループ）として、累計3棟以上の宿泊施設の開設を行う者
- 当該エリア内の観光振興につながる周遊促進策等を盛り込んだ連携プランの提出を行う者（市町村、観光協会等との連携が必須）
- 宿泊施設として活用可能な空き家がない等の条件付きで、新築物件による整備も対象

空き家等の物件を活用し、中山間地域での宿泊機能の強化を図る



② 宿泊施設開設支援メニュー

一定のエリア内で複数棟の宿泊施設の運営を予定する者に対して、改修費等を支援（※空き家等の物件を活用する場合が対象）

補助率：1／2以内　上限額：5,000千円　※1事業者あたり年度内1回限り

＜主な留意点＞
- 将来的に複数棟の宿泊施設の開業を予定する者

地域観光商品造成

地域観光課

どっぷり高知旅キャンペーンで目指す商品づくり・取組

★地域の魅力をより深く体感できる商品づくり

・地域ならではの魅力ある素材を活用し、観光客が地元の人との交流や暮らしに触れることのできる観光商品の造成

★地域（面）での取組の推進

・個々の事業者支援に加え、多様な関係者による連携した面での取組を支援し、エリア内の観光商品を組み合わせることで、長期滞在や観光消費額の拡大につなげる

令和６～７年度

・コーディネーターの派遣回数：439回
・モニターツアーの実施　　：全40回
・オンライン勉強会の開催：延べ881人(全12回)
・商品の磨き上げに関する対応回数：59回
⇒24市町村で75商品を造成

令和８年度（９月末時点）

・コーディネーターの派遣回数：110回
・モニターツアーの実施　　：３回
・商品セールスの実施　　：４回
・ファムツアーの実施　　：３回（予定）
⇒インバウンド商品30商品を企画中

令和７年度までの造成商品

① 食、歴史、伝統文化を学ぶ旅

・（R6）自分で焼いたカツオをオリジナルの塩で食べるプラン
・（R6）物部の古民家で「いざなぎ流舞神楽」鑑賞プラン
・（R7）伝統芸能の伝承 赤野獅子舞鑑賞ツアー





② 高知の大自然や草花を思いっきり楽しむ旅

・（R6）仁淀ブルーを眺めながら水上整体
・（R7）四万十川屋形船　水上カフェ





令和８年度に造成中の商品

① 食、歴史、伝統文化を学ぶ旅

・馬路村の柚子収穫体験
・国分寺での文化体験と物部エリア半日ツアー
・碁石茶の製造工程見学と地元食材のヘルシーランチプラン
・隈研吾建築で体感する和紙アート体験
・ジョン万次郎の見た景色と港町グルメを楽しむ宇佐ぶら





② 高知の大自然や草花を思いっきり楽しむ旅

・牧野植物園 旬彩ピクニックランチツアー
・物部川サイクリングツアー





令和８年度の取組

1　キャンペーンの核となる新たな商品造成（30件）

【事業内容】

想定する商品ごとに専属のコーディネーターを配置し、その伴走支援のもと、観光施設、ガイド、事業者、観光協会等が連携し、商品づくりを行う

特に、**インバウンド向けの売れる**どっぷり商品づくりに取り組む

①企画提案に基づく地域の素材のリストアップ
②ターゲット国や旅行会社のニーズに応じた素材の選定
　専門家や外国人の目線を入れ、インバウンドの動向を見据えて素材を選定
③コーディネーターの伴走支援による造成、モニターツアーの実施
新 ④ツアーマニュアルやガイドツール、台本等の作成
新 ⑤セールスツールの作成
新 ⑥ファムツアーの実施
　商品を認知し、ツアーへの組み込みを促すために旅行会社、メディア関係者を招聘

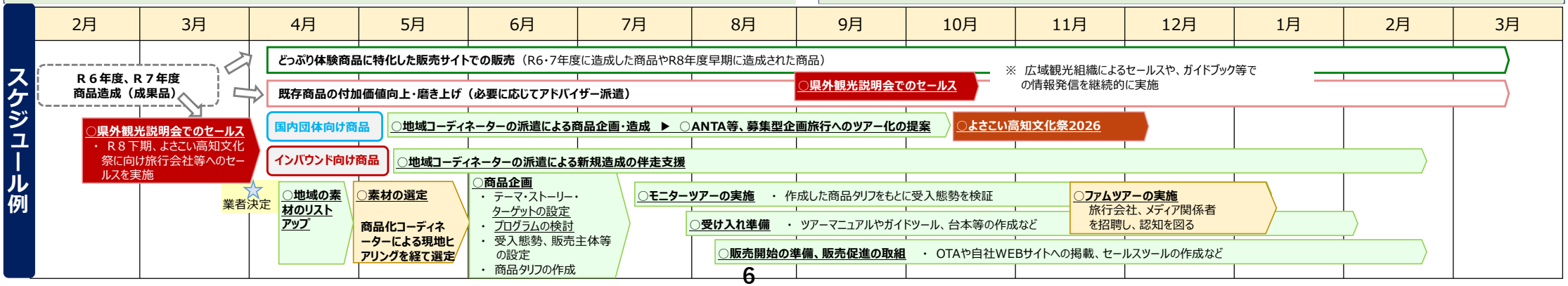
【商品例】

・地域通訳案内士によるガイドを組み込んだ高付加価値商品
・「よさこい高知文化祭2026」を契機とした商品

2　既存商品の磨き上げ

①相談窓口の設置と対応（必要に応じてアドバイザー派遣）
②R6・7年度に造成した商品のフォローアップ

スケジュール例



国際観光の推進

国際観光課

現 状

■高知県の外国人延べ宿泊者数

Ｒ７年　140,780人泊（確定値）

Ｒ８年　110,820人泊（1-7月速報値）

（対前年同期比135.8%）

■台湾定期チャーター便概要

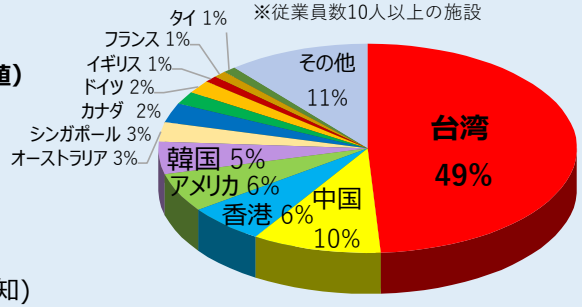
就　航　日：R5.5.10 (毎週 水、土)

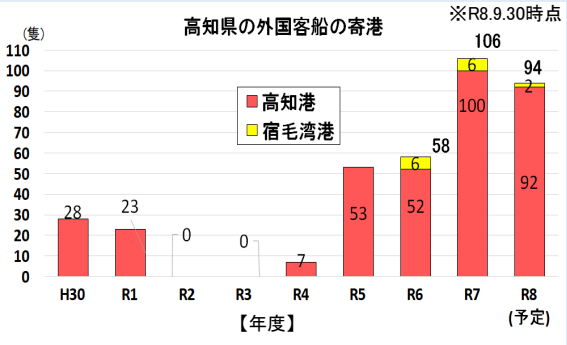
平均搭乗率：約94%（R8.8末時点）

累計搭乗者：約58,000人(台北→高知)

【R7 国・地域構成比】

※従業員数10人以上の施設





■高知港外国客船乗客数 ※邦船除く

（R7年） 外国客船寄港数100隻

乗客数　：149,067人

下船者数：111,800人（約75%）

（R8年） ９月末時点：寄港数48隻

乗客数　：76,608人

下船者数：54,215人（約71%）

令和８年度上半期の取組

取組①

国際航路の拡充



【台湾航路の定着】

○ **航空会社・旅行会社へのセールス**
- 副知事トップセールス（7/14、8/31）
  （R9.3.31からの定期便化実現）

○ **旅行会社や航空会社と連携したプロモーション**
- 就航３周年記念メディア発表会(7/14:29社、掲載数20件)
- 現地旅行博(ATTA:4/24-27,TTE:5/22-25)

○ **個人旅行者をターゲットとした取組・プロモーション**
- 台北-高知便利用者レンタカー割引キャンペーン（4-8月19件）
- 坂本龍馬×土佐酒テーマの現地セミナー（7/30　参加者98名）
- 有名YouTuberの高知県ミュージックビデオ公開（8/20）
- 台南市総爺和風文化祭でのよさこい・赤野獅子舞披露及びPR（8/31）

【韓国航路の誘致】
- 航路誘致や旅行商品造成に向けたセールス活動（通年）
- 現地商談会の開催（9/14）※県内27事業者、韓国側47事業者参加
- 有名SNSアカウントを通じた高知県紹介動画投稿（29万回再生）
- 旅行会社と連携したモニターツアー（7/26-29）
- 現地旅行博等（ソウル酒フェス:5/22-23,大韓民国国際観光博覧会:7/3-5,日韓交流お祭り10/10）
- 旅行会社ファムツアー（3回:6/25-28,8/20-21,10/7-10）
- インフルエンサー招請・情報発信（8/20-21,10/14-17）
- 県内ゴルフ場向けのインバウンドセミナー（8/20）

取組②

消費拡大を促進する受入環境整備

○ **消費拡大セミナー等の開催、受入環境整備の促進**
- 多言語対応・表記、キャッシュレス化等を促進するセミナーの開催
  （実地：9/11、オンライン：9/25、アーカイブ動画9/25~）
- 県内事業者向け個別支援（通年）
- キャッシュレス表示ステッカーの配布（６月~）
- 市町村や観光事業者のWi-Fi、キャッシュレス化、多言語表示等の受入環境整備の取り組みに対する助成（申請：３件）
  （大月町、香美市、日高村）

○ **外国客船の受入態勢の充実**
- はりまや橋観光バスターミナル等に臨時観光案内所を設置（通年）
  (原則、乗客定員数が1,000人以上の場合に設置)
- 高知新港ツアーバス乗降場でのバス誘導、安全管理（通年）
- 高知城周辺の渋滞対策を実施（8/20）
  (原則、乗客定員数が4,000人以上の客船寄港時やよさこい祭り期間等に実施)

取組③

付加価値の高い旅行商品づくりの推進

○ **地域通訳案内士の活躍による高知旅の満足度向上**
- 新規登録者研修：研修（10/17~1/24）
  受講予定者：33名（英22名、中3名、韓8名）
- 旅行会社等とのマッチング、有資格者向けフォローアップ研修

令和８年度上半期のスポーツツーリズムの取組

スポーツツーリズム課

1　第３期高知県スポーツ推進計画（R5～R9）の取組状況（令和８年度９月末時点）

項目	R９目標	設定当初（R４）	R５			R６			R７			R８			R９		
			目標	実績	達成度	目標	実績	達成度	目標	実績	達成度	目標	実績	達成度	目標	実績	達成度
スポーツによる県外からの入込数	12万人	53,161人	63,000人	86,094人	S	７万人	101,309人	S	９万人	99,271人	S	10.5万人	45,610 (9末時点)	(D)	12万人	–	–

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率110%以上
A	100%以上110%未満
B	85%以上100%未満
C	70%以上85%未満
D	70%未満
–	達成度の判断が困難なもの

KPI達成に向けた主な取組等	R8の代表的な事業の取組状況	
	上半期の取組	今後の取組
(1)プロ･アマチュアスポーツの誘致 【事業概要】 プロ･アマチュアスポーツのキャンプや合宿、大会の誘致を推進し、地域経済の活性化やスポーツ参加の拡大、競技力の向上につなげる  	**①プロスポーツ** 【R8.1～3】国内外プロ野球チーム春季キャンプ(3チーム)、国内プロサッカー春季キャンプ(3チーム)観客数計13,949人 プロ野球オープン戦(3/7,8) 計6,734人 【R8.4～6】プロ野球ウエスタンリーグ(4/25,26) 計1,407人 【R8.4～6】ﾘｮｰﾏゴルフ日高村オープン開催支援(5/15,16) 観客数:1,360人 カシオワールドオープン2026大会開催に向けた調整･協議 **②プロスポーツ（屋内）** 【R8.4～6】 Bリーグエキシビションゲーム 神戸ストークスvs広島ドラゴンフライズ (9/3) 2,009人(県外比率：25.1%) SVリーグプレシーズンマッチ 広島サンダーズvsフラーゴラッド鹿児島 (9/23) 2,006人 (県外比率：24.6%) **③アマスポーツ** 【R8.1～3】高知県スポーツ合宿ワンストップ窓口対応件数2件:72名 194人泊 【R8.4～9】高知県スポーツ合宿ワンストップ窓口対応件数8件:304名 3,564人泊 県内観光協会等に向けた窓口活用依頼（計77団体） 就職支援協定締結大学への情報提供（43大学）	**屋内プロスポーツチームの試合継続実施に向けた誘致活動** ･R8年に誘致したチーム等と来年度に向けた協議 **「高知県スポーツ合宿ワンストップ窓口」のさらなる周知に向けた広報強化** ･東京事務所と連携した「よさこい合宿」の誘致 ･県スポーツツーリズムポータルサイト「スポる！高知」を活用した広報の実施 ･実際にワンストップ窓口を利用した方の声を紹介 ･よさこい合宿に係る記事掲載
(2)地域の特色を生かしたスポーツツーリズムの推進 【事業概要】 地域の特色を生かしたスポーツツーリズムを推進し、地域経済の活性化やスポーツ参加の拡大、競技力の向上につなげる 	**①サイクルツーリズム** 【R8.1～3】サイクリングスタンプラリーの実施(1/23～3/20) 参加者：185人 【R8.4～9】サイクリングアイランド四国推進協議会10周年記念イベントの提案(四国一周･台湾一周イベント) サイクリングスタンプラリーの実施(9/1～1/31) ,サイクリスト動向調査の実施(9/10～9/24) 対象：379人 **②高知龍馬マラソン** 【R8.1～3】ランニングセミナー開催（2回） 龍馬マラソン2026開催(フルエントリー:11,327人) 【R8.4～9】令和8年度第1回総会開催(6/22) 参加賞Tシャツデザイン決定(8/19審査会開催) ランニングセミナー（集合型･オンライン型2種類）順次開催（各7回 計14回） 龍馬マラソン2027エントリー受付開始(8/1～10/31) エントリー者数:10,785人※10/7時点	**サイクルツーリズム推進に向けた新たな取組を検討** ･四国4県で連携した10周年記念イベント実施に向けた調整 **ふるさと納税の仕組みの活用等、高知龍馬マラソンの継続開催に向けたエントリー促進及び収入確保策の検討** ･エントリー者の満足度向上に向けた取組の強化 ･ボランティア増加に向けた活動証明書のオンライン発行の実施
(3)地元プロチームとの連携 【事業概要】 高知ユナイテッドSCや高知ファイティングドッグスと連携し、ホーム戦の観客増や観光PR等に取り組み、地域経済の活性化をはかる  	**①高知ファイティングドッグス** 【R8.4～9】阪神タイガースとの交流イベント実施(4 /23) 高知FDキッズデー開催(5/5) , 出会いイベント開催(5/15,8/14) **②高知ユナイテッドSC** 【R8.1～3】観光PR(ホーム戦： 2 回) 【R8.4～9】観光PR(ホーム戦： 4 回) 高知県冠試合の開催(5/17) 7,867人(26/27シーズン平均：2,354人) CF型ふるさと納税(4/24～6/17) 延べ294人 12,412千円、企業版ふるさと納税 10社 38,000千円	**ホーム戦観戦に係る新規顧客獲得に向け、来場のきっかけとなる取組を強化** ･県内大型スポーツイベントの連携を推進し、相互送客による集客力の向上を図る <高知ユナイテッドSC> ･下期の集客予算を活用したホーム戦での県冠試合の実施
(4)スポーツを通じたインバウンドの誘致 【事業概要】 東京2020オリンピック･パラリンピック競技大会のホストタウン等で関係を構築した国等との相互交流や、国内で実施される国際大会に出場する海外チームの事前合宿の受入により、地域経済の活性化やスポーツ参加の拡大、競技力の向上につなげる 	**①海外チームの事前合宿等の誘致** 【R8.4～6】ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ･ｷﾙﾙﾎﾞｽ大使館への第20回ｱｼﾞｱ競技大会及び第5回ｱｼﾞｱﾊﾟﾗ競技大会に係る事前合宿の案内(5月) **②高知龍馬マラソン** 【R8.1～3】龍馬マラソン2026大会開催(海外エントリー:53人) 台南古都国際ハーフマラソン会場での高知県PRブースでの広報 ハワイにおいて認知度向上のための大会PRチラシを掲示 【R8.4～9】龍馬マラソンと台南古都国際ハーフマラソンとの継続した相互交流の実施に向けた協議の実施 （男女１名ずつの相互派遣を行う）	**ポータルサイトを活用した情報発信のほか、関係部署と連携した広報の強化** ･龍馬マラソンへの海外ランナーのエントリー増に向けた海外ランナー申込サイト「RunJapan」･公式SNSでの広報の実施、旅行会社と提携したパッケージツアーでの参加者募集（2社） ･台南古都国際ハーフマラソンを通じた高知龍馬マラソンのPR
情報発信 	県スポーツツーリズムポータルサイト「スポる！KOCHI」を通して、国内外へ積極的な情報発信	

新県民体育館の整備に向けた取り組みについて

スポーツ課

これまでの経緯

R6.7～12　県立スポーツ施設のあり方検討会
県民体育館の再整備の方向性を検討。全４回開催

R7.7~R8.6　新県民体育館整備等基本計画検討会
基本方針、施設の機能や規模、概算事業費、事業手法などを検討。
全11回

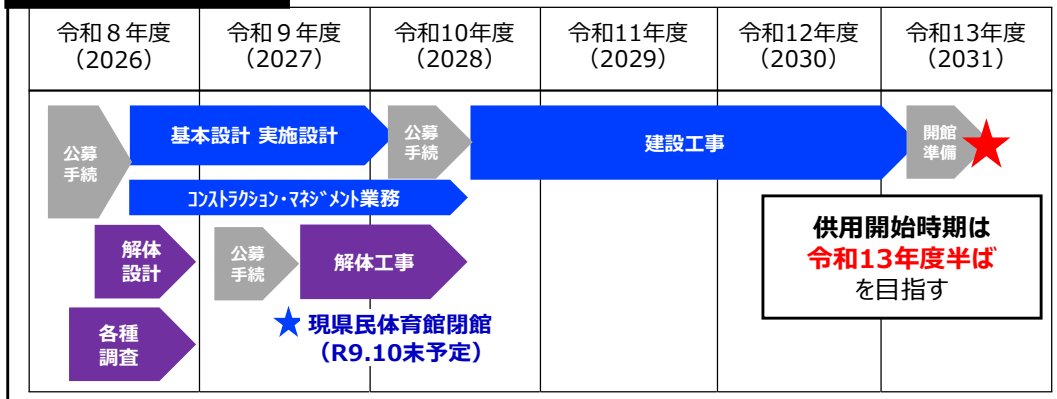
R8.5　基本計画（案）に関するパブリックコメント
114通、延べ216件の意見

R8.6　新県民体育館整備等基本計画の策定

R8.7　県議会６月定例会で関連予算を承認
基本・実施設計、既存施設の解体設計、各種調査などに要する費用を計上


新県民体育館のイメージ

今後のスケジュール



基本方針

（１）まちづくりの拠点　まちづくりやコミュニティの形成のハブ
（２）スポーツ振興の拠点　県民のニーズに合ったスポーツを「する」施設
（３）にぎわいの拠点　スポーツを「みる」という文化の定着
（４）安心・安全な拠点　ユニバーサルデザイン、一時避難が可能な施設

敷地・施設規模

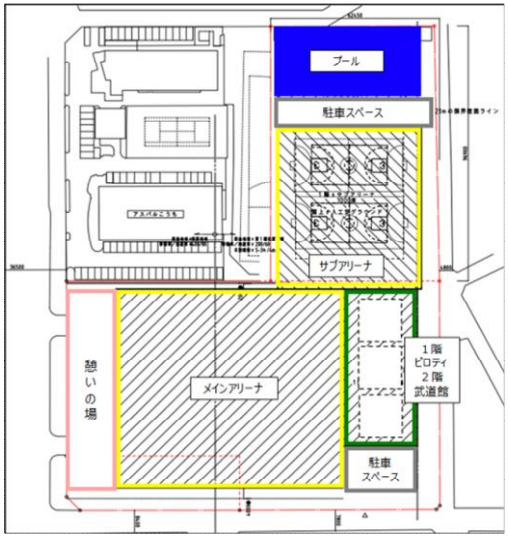
※施設規模は基本計画時点の想定であり、今後の検討で変更の可能性

【敷地】
現在の県民体育館、旧南消防署敷地、アスパルこうちグラウンド（全面）

【主な施設規模】　※延床面積約17,000～19,000㎡（ピロティ、地下駐車場除く）
メインアリーナ：バスケットコート３面＋観客席5,000席以上
サブアリーナ　：バスケットコート２面＋観客席500～1,000席程度
武道館　　：試合場３面
プール　　：25m×６～８コース程度（うち１コースはスロープ）
駐車場　　：250台以上（地下駐車場の選択肢を含む）

平面図

※平面図は基本計画時点の想定であり、今後の検討で変更の可能性



整備方針

1　**スポーツをする施設（社会体育施設）に加えて、アリーナ機能を融合した複合施設の整備**
2　メインアリーナとサブアリーナを備え、**「スポーツ」×「エンタメ」**を実現し、**多目的**に活用できる施設として整備
3　**プロスポーツのレギュレーションやコンサート等の興行**に適した規模・機能の整備
4　**県立武道館を移転・集約化**する整備
5　**高知ぢばさんセンター大ホールの機能を集約**し、展示会等の**MICE**の開催が可能な規模・機能の整備
6　「稼げる」施設となるよう、諸室の効率的な運用や飲食スペースの設置などが可能な整備
7　老若男女、特に**若者や子どもが集い**、多世代で楽しみ、交流できる憩いの空間の整備
8　**ユニバーサルデザイン**に対応した整備
9　**災害時の避難機能**を備えた整備
10　県の財政状況を踏まえ、コスト圧縮や国の有利な起債なども積極的に活用した整備

取組状況

６月補正で予算計上した各事業について、公募型プロポーザルや入札により、県内企業の参入機会を確保しつつ、契約手続き及び事業への着手を進めている

○基本設計・実施設計
プロポ１次審査会（8/31、9/1）⇒２次審査会（10/22予定）⇒契約締結（11月上旬予定）
※応募9者、5者が1次審査通過

○コンストラクション・マネジメント（CM）業務
プロポ審査会（9/17）⇒日建設計CM・上田建築事務所共同企業体と契約締結（10/9）

○解体設計　10月下旬契約締結予定

○各種調査　測量調査（9/17契約）、地質調査（8/26契約）、工損調査（9/28契約）

関係部署や高知市などの関係機関との連携し、設計に反映させる内容を具体化

○教育的な配慮
・隣接する教育施設利用者へのアンケート実施中
・高知市教委との定期的な協議開始（7/23、9/3）

○「まちづくり」ワークショップ（3/29、5/16、7/25）
・学生や地元住民、観光・商工関係者など約20人が参加し、賑わいづくりや防災をテーマに全３回実施

○基本設計アドバイザー（仮称）
・運営目線を設計に反映させるため、各分野からアドバイザーを委嘱（10月～）

○交通予測・シミュレーション（～R9.3実施予定）
・体育館周辺の交通渋滞・混雑予測
・車の出入口や動線など対策を設計へ反映

○歩道橋の再整備を含めたアクセスルート確保の検討
・公共交通部署や道路部署等との協議（8/12）

○都市計画法に基づく手続き
・用途地域の変更
（第１種住居地域⇒商業地域）
・高知市において都市計画審議会へ諮問（11月予定）